

新しく開花結実した温室植物

磯部 実・柴田昌男

本園で栽培管理している熱帯果樹及び熱帯花木についての開花結実記録は、栽培記録第1, 2, 7, 9号において報告している。その後、新しく開花結実した種類について報告する。なお、いままで開花・結実にいたらなかった種類については、環状はく皮を行うことにより、いくつか良い結果が得られた。

ポインドアップル *Annona glabra* L.

本樹は樹高約5m, 幹回り周約20cm。1989年1月に結実を確認し, 3月15日には, 果実は長さ5cm, 直径4cmに肥大したが, 3月下旬に落下した。



ポインドアップル

トゲバンレイシ *Annona muricata* L.

本樹は樹高約8m, 幹回り周約35cmで, 数年前が開花していたが, これまで結実にいたらなかった。1990年5月12日に環状はく皮した。1990年8月に結実を1個確認をし, 9月6日に果実は長さ17cm, 直径12cmに肥大したが, 10月6日には落下した。また2個目の結実を12月12日に確認し, 2月14日に果実は長さ18cm, 直径8cmに肥大した。3月18日に果実は長さ25cm, 直径13cmに肥大して落下した。



トゲバンレイシ

タマゴノキ *Garcinia xanthochymus* Hook.

本樹は樹高約4m, 目通り幹回り周約15cmで1990年7月に開花し, 1990年9月中旬に果実は長さ3cm, 直径4cmに肥大し, 11月20日に果実は長さ4.5cm, 直径5cmに肥大した。12月25日に未完熟のまま落下した。



タマゴノキ

ジェードバイン

Strogylodon macrobotrys A. Gray

本樹は1985年マレーシアのセインズマレーシア大学教授の Dr. Teo 氏より苗1株を譲り受けた。その後挿し木繁殖し, 1987年5株を大温室に地植えた。そのうちの2株が1990年の春に開花した。開花した株の幹回り周は3cm。2株で5花序を着け, 次々と開花した(表1)。

マスコミ(新聞, テレビ)にも取り上げられ, 話題を呼んだ。



ジェードバイン

表1 ジェードバインの開花結果

		開花開始日	花序の長さ	花房数	花数
NO. 1株	第1花序	4月18日	55cm	34個	190個
	第2花序	6月20日	63	19	140
	第3花序	6月20日	62	20	128
NO. 2株	第1花序	5月26日	63	22	103
	第2花序	5月29日	78	22	93

ソーセージノキ

本樹は樹高約4m、幹回り周約20cm。1990年5月8日に環状はく皮した。1990年9月に五花序を着け、9月11日に開花を始めた(表2)。

表2 ソーセージノキの開花結果

	開花開始日	花数
第1花序	9月11日	10個
第2花序	9月17日	8個
第3花序	9月17日	5個
第4花序	9月18日	14個
第5花序	9月22日	20個

一花序の開花期間は、約6~10日間であった。花は夜7時頃から開き、朝には落下した。果実を得るために、交配を他花授粉、自花授粉合わ

せて約10花を試みたが、結実にはいたらなかった。花の雌蕊の先端は2又に分かれ、交配するとすぐに閉じることを観察した。夜間開花するので入園者に見てもらえなかったのが残念であったが、開花状況の写真と説明文を掲示して、入園者にアピールした。



モクセイ科林再整備 (中間報告)

吉岡敏彦

休憩展望塔からあずまやに到る園路沿いに設けられたモクセイ科林は、開園当初に緑化を目的として植栽されたスダジイ、トチノキ、クスノキなどが、そのまま混在し、これら緑化樹の繁茂にともない、本来のモクセイ科植物の生育が妨げられる状態となっていた。またこの付近は、園路沿いの植栽樹木がせり合って大きく繁り、夏季にはうす暗く感じられる程であった。(写真)



整備前

このため、モクセイ科林標本園としての統一と、観賞価値の高い植物でイメージアップを図るという視点から、ライラックを中心とした植栽に変えることとした。

実施にあたり、以下のような具体的な方針をたて、再整備を行った。

- ① 中央に「リラの小径」と名付けた観察路を設ける。観察路のふちは、小径という感じがでるよう、間伐したアカマツの丸太を使った境とする。
- ② 植栽するライラックは、苗ほ場で管理している原種のみでなく、新たに導入した園芸品種も加え、ライラック見本園として機能できるようにする。
- ③ モクセイ科に属さない樹木は、特別な種を除いて処分し、開かれた明るい空間を作る。整備後の植栽図を図、表に示す。

今後の計画として、現在広い面積を占めているヒラドツツジをライラックに植え替える、種子交換等で収集しているモクセイ科の原種を、順次植え出していく、モクセイ科林としての充実を図る、また植物がある程度育った段階で、ベンチなどを置く等を検討している。